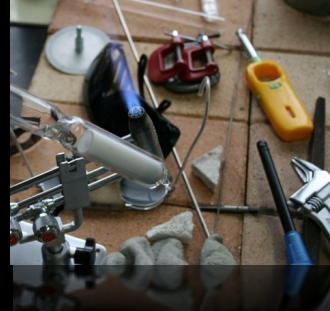
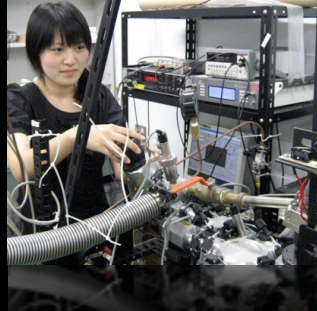
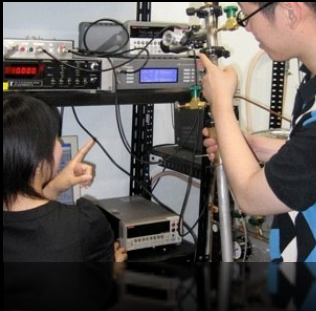


ようこそ！物理・稲田研へ



物質の中での電子の不思議な振る舞いを研究しています！

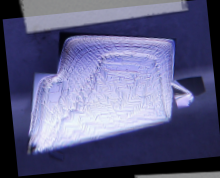
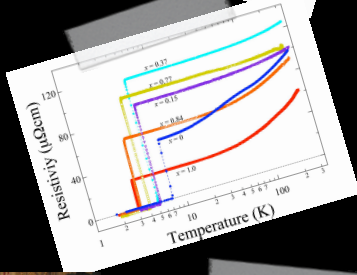
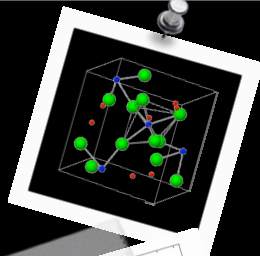
オリンピック等で活躍する金、銀、銅メダル。なぜ同じ金属なのに色が違うのでしょうか？

小学校でも扱う磁石。なぜ磁石につくものとそうでないものがあるのでしょうか？

なぜ金属は電気を流すのでしょうか？ ついでに超伝導って何？

物質の性質には、実は、殆どの場合、電子が重要な役割を担っています。

私たちは、不思議な性質を示す物質の原理を追求する「電子物性物理学」を研究しています。



高校までの物理と大学で研究する物理学は、きっとかなりイメージが違います。詳しくは問い合わせて頂けると良いですが、正直言って、かなり

オモシロイ！！

0.25Kまでとんでもなく冷える実験装置を手作りしたり、世界最高の結晶を作って世界中の研究者と共同研究したり、国際会議で冷や汗を流しながら発表したり...。世界が広がり、手に職が付きまします。そんな経験をした学生や大学院生が、今、小中高校で先生をしています。

良い理科の先生になるには、こどもに向き合うセンスと同時に、自然に向き合うセンスが必須です。稲田研では、先進研究で汗を流して後者を鍛えると同時に、各種実習や、こども科学体験公開講座の運営や小学校への出前事業、公民館での科学教室にも、学生達が積極的に参加しています。もちろん教材開発は必須です。

研究って、ちょっとした工夫で劇的に進展することがあります。本気で取り組めば、ちょっとしたアイデアを活かせることに気がついて、研究をグッと進展させる学生も多くいます。そんな学生は、例外なく良い先生になっています。

自然に対しても、こどもに対しても、「本気度」が大切だと実感しています。



ウィーンでの国際会議の夕食会。市庁舎でクラシックの生演奏をバックに、各テーブルでは、世界中の研究者と物理の話題等で盛り上がります



国際会議を1日さぼった証拠写真発掘！ 今、中学校の先生しています....



授業実践直前に、本気で議論する学生。こどもの前に立つときは真剣です....



SPring8にて



超伝導マイスナー効果
超伝導は研究テーマのひとつです。

研究テーマ： 超伝導、重い電子系、磁性、超低温、結晶合成など

21年度は、

博士課程：1名

研究生：1名

大学院生：3名

学部生：3名

で活動中！！



Made on a Mac

無事に、学びと楽しさと驚きのある授業に成功！